

令和8年2月12日開催  
調 査

# 経済福祉常任委員会資料

○調査事件14 町立診療所の経営について

福 祉 課



## 調査事件 1 4 町立診療所の経営について

### 1 利用者数の状況について

診療所の利用状況について、令和6年度の利用者数は5,748人となっており昨年より73人減少しております。また、1日あたりの利用者数は20.9人と昨年より0.3人減少となっております。

なお、減少の主な要因は、通院の利用者の減少によるものですが、訪問診療の利用者は増加しております。

#### ■利用者数の状況推移

(単位：人)

年度	営業日数	診療所利用者							1日平均
		通院		訪問診療		計			
		町内	町外	町内	町外	町内	町外	計	
6	275	4,212	855	421	260	4,633	1,115	5,748	20.9
5	274	4,397	884	353	187	4,750	1,071	5,821	21.2
4	275	4,312	932	415	267	4,727	1,199	5,926	21.5
3	272	4,262	914	443	371	4,705	1,285	5,990	22.0
2	276	4,175	944	196	352	4,371	1,296	5,667	20.5

### 2 診療事業収入の状況について

令和6年度の診療事業収入は、73,494千円となっており、対前年度比で4,256千円の減となっており、1人当たりの単価では12,786円と571円の減となっております。

また、保険診療収入につきましては、61,036千円となっており、対前年度比で6,067千円の減となっております。

#### ■年度別状況

(単位：人、円)

年度	利用者数	診療事業収入	1人当たり	保険診療収入
6	5,748	73,494,105	12,786	61,035,916
5	5,821	77,750,021	13,357	67,103,259
4	5,926	86,468,054	14,591	71,206,046
3	5,990	97,579,579	16,290	71,099,395
2	5,667	68,305,468	12,053	60,007,635

### 3 診療所特別会計の決算状況について

令和6年度の診療所特別会計の決算状況については、歳入総額が117,621千円となっており、対前年対比で8,160千円増加しております。主な要因は歳出の診療事業費の増加に伴う一般会計からの繰入金の増によるものとなっております。

歳出総額は107,354千円となっており、診療業務委託料を含めた診療事業費は60,995千円で、対前年比で5,171千円の増加となっております。

また、歳入歳出差引額については10,267千円の黒字決算となっておりますが、繰越金と一般会計からの赤字対応分の繰入金を除いた実質単年度収支額では、26,505千円の赤字決算となっております、赤字幅が拡大しております。

#### ■ 診療所会計歳入歳出決算状況

(単位：千円)

区 分		令和6年度	令和5年度	増 減
歳 入	1 診療事業収入	73,494	77,750	▲ 4,256
	2 繰 入 金	37,000	22,000	15,000
	うち赤字対応分	29,700	14,700	15,000
	うち公債費対応分	7,300	7,300	0
	3 繰 越 金	7,072	9,398	▲ 2,326
	4 諸 収 入	55	313	▲ 258
	計	117,621	109,461	8,160
歳 出	1 総 務 費	35,849	36,055	▲ 206
	2 診療事業費	60,995	55,824	5,171
	3 諸 支 出 金	0	0	0
	4 公 債 費	10,510	10,510	0
	5 予 備 費	0	0	0
		計	107,354	102,389

#### 【歳入歳出差引額等】

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減
歳入歳出差引額	10,267	7,072	3,195
実質単年度収支額	▲ 26,505	▲ 17,026	▲ 9,479

※実質単年度収支額は歳入歳出差引額から繰越金、繰入金（赤字対応分）を除いた額で算出

#### 4 令和7年度11月までの利用者及び診療報酬等の状況について

##### (1) 利用者の状況について

令和7年度の4月から11月までの利用者については、前年度と比較して通院及び訪問利用者の両方とも減少しております。

(単位:人)

月	令和7年度			令和6年度			増減		
	通院	訪問	計	通院	訪問	計	通院	訪問	計
4	350	56	406	367	80	447	▲17	▲24	▲41
5	362	42	404	424	66	490	▲62	▲24	▲86
6	409	60	469	421	51	472	▲12	9	▲3
7	340	47	387	350	55	405	▲10	▲8	▲18
8	332	44	376	364	59	423	▲32	▲15	▲47
9	347	40	387	332	63	395	15	▲23	▲8
10	547	45	592	539	70	609	8	▲25	▲17
11	539	30	569	626	70	696	▲87	▲40	▲127
計	3,226	364	3,590	3,423	514	3,937	▲197	▲150	▲347

##### (2) 診療報酬等の状況について

令和7年度の4月から11月までの診療報酬については、利用者の減少に伴い診療報酬等も減少しております。

報酬等の内訳につきましては、令和7年度の保険診療収入が37,289千円となっており、対前年比で、3,727千円(9.1%減)となっております。

また、保険診療外の手数料収入は6,683千円で、対前年比で347千円(5.5%増)となっております。

(単位:千円)

月	令和7年度			令和6年度			増減		
	保険	保険外	計	保険	保険外	計	保険	保険外	計
4	4,783	41	4,824	5,272	138	5,410	▲489	▲97	▲586
5	5,173	436	5,609	5,414	491	5,905	▲241	▲55	▲296
6	4,703	648	5,351	5,227	609	5,836	▲524	39	▲485
7	4,565	791	5,356	4,949	1,022	5,971	▲384	▲231	▲615
8	4,639	957	5,596	5,094	540	5,634	▲455	417	▲38
9	4,451	483	4,934	4,782	516	5,298	▲331	▲33	▲364
10	5,085	447	5,532	5,171	116	5,287	▲86	331	245
11	3,890	2,880	6,770	5,107	2,904	8,011	▲1,217	▲24	▲1,241
計	37,289	6,683	43,972	41,016	6,336	47,352	▲3,727	347	▲3,380

※保険は診療月、保険外は収入月で集計

(3) 令和7年度診療所会計歳入歳出決算見込みについて

令和7年度の診療所会計の歳入歳出の決算見込みについては、4月から11月までの実績を勘案し、次のように推計しております。

歳入において診療事業収入で67,904千円、前年度に比べ5,590千円の減少となっており、一般会計からの繰入金35,000千円と繰越金等を合わせた歳入総額は113,225千円を見込んでおります。

歳出では、国の人事院勧告のアップを受け、職員の人件費などの総務費が44,745千円で前年に比べ8,626千円の増加となっております。また、医療業務委託料を含めた診療事業費は54,873千円となっており、公債費を含めた歳出総額は109,768千円を見込んでおります。

歳入歳出差引額は、3,457千円の黒字決算となりますが、繰越金と一般会計からの赤字対応分の繰入金を除いた実質単年度収支額では、34,510千円の赤字決算となる見込みであり、令和6年度決算に比べて8,005千円増加となります。

(単位：千円)

科目 \ 年度	令和7年度 (見込)	令和6年度 (実績)	比較増減	備考
1 診療事業収入	67,904	73,494	▲5,590	
2 繰入金	35,000	37,000	▲2,000	
うち赤字対応分	27,700	29,700	▲2,000	
うち公債費対応分	7,300	7,300	0	
3 繰越金	10,267	7,072	3,195	
4 諸収入	54	55	▲1	
歳入計	113,225	117,621	▲4,396	
1 総務費	44,475	35,849	8,626	
2 診療事業費	54,783	60,995	▲6,212	
3 諸支出金	0	0	0	
4 公債費	10,510	10,510	0	
5 予備費	0	0	0	
歳出計	109,768	107,354	2,414	
差引額	3,457	10,267	▲6,810	
実質単年度収支額	▲34,510	▲26,505	▲8,005	

## 5 経営の安定化に向けた取り組みについて

### (1) 医療体制の充実について

診療所における医療体制は、医師1名、看護師4名、医療事務員2名（うち1名は会計年度任用職員）となっております。

なお、昨年4月から育児休業中の看護師が復帰して看護師4名体制となっております。

### (2) 来院者の増加対策について

開業から7年を経過し、町立診療所として「やまゆりクリニック」が地域に確実に浸透してきておりますが、人口減少などの要因を受け利用者の減少が続いている状況にあります。

このような状況を踏まえ、地域医療の担う町立診療所として、高齢化する中で在宅での訪問診療を強化し、今後も引き続き、光銭院長と町及び包括支援センターが連携し、さらなる在宅医療の充実に努めてまいります。

診療以外では、がん検診や特定健診においては、診療所における受診機会を増やすとともに受診率の向上に向けて、診療時において検診等の積極的な受診勧奨を引き続き行うなど、検診と連動した医療体制を今後も構築してまいります。